



西九通信 SAGA

伊万里道路の早期工事着手へ向けて事業を推進中！

道路事業の流れ

- 1 事業の概略説明
- 2 基準点設置
- 3 測量・地質調査
- 4 設計協議
- 5 用地測量と物件調査
- 6 用地協議
- 7 調印と登記手続
- 8 工事説明
- 9 工事
- 10 工事の完成

伊万里道路

L=6.6km



西九州自動車道については唐津伊万里道路の北波多IC～谷口IC(仮称)間を平成26年度、谷口IC(仮称)～伊万里東IC(仮称)間を平成29年度、伊万里松浦道路の山代IC(仮称)～今福IC(仮称)間を平成26年度の開通を目指し現在工事を推進中ですが、伊万里道路についても早期の工事着手に向けて各地区において事業を推進しています。

平成26年3月末現在、府招上地区、白野・永山地区、木須・松島地区については用地買収を推進中、脇田・平山地区については用地測量と物件調査に着手、東八谷掘・西八谷掘地区、及び日尾・長浜地区については設計協議が完了し用地幅杭打設が完了しています。



▲設計協議(設計説明会)の様子
(東八谷掘・西八谷掘地区:平成26年2月6日)



▲設計協議(設計説明会)の様子
(日尾・長浜地区:平成26年2月13日)



▲伊万里西 IC付近の現況



▲伊万里西 IC付近のイメージ図

伊万里西 IC

伊万里中 IC

伊万里東 IC

地区

日尾・長浜	東八谷掘・ 西八谷掘	木須・松島	脇田・平山	白野・永山	府招上	地区
4 設計協議 	6 用地協議 	7 調印と登記手続 	5 用地測量と物件調査 	6 用地協議 	7 調印と登記手續 	進捗状況(H26.3末)

現地調査の結果に基づき、詳しい道路の設計を行い、地元関係者の方と道路の高さと取り溝等の内容について協議します。

関係者と用地買収、家屋移転等について協議します。

用地巾れを設置したあと関係者と会のうえ境界を確認し、一括の用地測量や建物等物件の調査をします。

関係者と用地買収、家屋移転等について協議します。

地盤者の既得と協議の了解が得られたら契約印のうえ、登記手続きと賃借金の支払いをします。

北波多IC開通一年目を迎えて

唐津伊万里道路

平成二十五年三月二十三日、北波多ICが開通して一年になりました。

北波多ICの開通に伴い、交通の利便性は良くなり、西九州自動車道を利用する車両の往来が多く、特に行楽時には、北波多から伊万里方面へ向かう県外ナンバーの車が多くみられました。

西九州自動車道は、九州北西部地域の発展や災害時等による安全性の確保などを目的として、着々と整備が進められていますが、単に北波多地域を通過するだけでは意味がない多くの物流や情報を呼び込み、地域の活性化を図つて行くことが必要だと思います。

唐津市内には四箇所のICが設置されていますが、他県からのお客様に、海、山、川の自然を満喫してもらい、唐津の素晴らしい食や史跡などの観光資源のPRを行い、集客を図つて行くことが重要になってしまいます。

わが郷土「北波多」は唐津焼発祥の地であり古より一樂・二萩・三唐津と称されるように、貴重な文化財の古窯跡群が残存し、岸岳古窯跡は国史跡に指定されています。唐津焼の源流を生み出したとされる唐津焼発祥の地を全国に発信することも、北波多IC付近にその旨を表示するなどPRに努め、地域を挙げて集客できるような構想や施設の整備を図つて行くことがこれから北波多IC開通一年目を迎えた課題であろうと思います。



「西九州自動車道」の開通に夢がくらむ
明日を拓く

私の住む伊万里市山代町立岩地区では現在、山代IC（仮称）から今福IC（仮称）間5.5kmの平成26年度供用を目指して、工事が進んでおり、浦之崎の佐代川橋と称されるように、貴重な文化財の古窯跡群が残存し、岸岳古窯跡は国史跡に指定されています。

間近となった、平成26年度供用に向けて、地域住民の期待は大きく夢がくらんであります。山代町西九州自動車道建設促進協議会と山代町開発促進協議会では、山代IC（仮称）の完成と、これから伊万里湾開発が連携を図り、地域の活力ある未来のために、伊万里市山代町浦之崎地区的開発に向けて緑地公園の整備や伊万里湾の利活用について、話し合いを進めています。人・町・自然がグンと近くなる西九州自動車道を中心として、どういった町を作るのか、安心・安全な暮らしができる、活力ある町を作るにはどうすればいいのか、町民の皆さんと心を一つにして取り組んでいきたいと思います。将来子ども達にも夢がくらむ西九州自動車道の一日も早い開通を熱望しております。



平成26年度開通予定箇所の工事状況

唐津伊万里道路

工事が進行中!!



伊万里松浦道路



至松浦市

至唐津市

至松浦市

▲伊万里市山代町立岩地区
(佐代川橋(仮称)付近を望む) (平成26年3月撮影)

▲伊万里市南波多町谷口地区
(板治川橋(仮称)付近を望む) (平成26年3月撮影)

西九州自動車道建設促進団体が現地視察

西九州道
トピック
コーナー

○伊万里松浦道路(山代IC
～県境)の用地買収が完了

平成19年度から着手した伊万里松浦道路(山代IC～県境)の用地買収について、関係者の皆様のご協力もあり平成25年12月に用地買収が全て完了しました。今後、開通に向けて工事を実施していくことになりますが、引き続きご理解とご協力をお願いします。



「計画課」が「調査課」に変更になります。
西九州自動車道の計画を担当する「計画課」が担当となります。これまでより「調査課」が担当となります。これからも西九州自動車道の早期整備に対する期待であります。ただ早く見えられるよう努めてまいります。

西九州自動車道の計画を担当する「計画課」が担当となります。これまでより「調査課」が担当となります。これからも西九州自動車道の早期整備に対する期待であります。ただ早く見えられるよう努めてまいります。

西九州道、国道3号、国道202号、203号、34号、35号、202号、203号、208号担当

西九州道、国道202号、203号、34号、35号、202号、203号、208号担当

平成26年2月20日(木)に平成26年度供用予定である唐津伊万里道路(北波多IC～谷口IC(仮称)間)の谷口IC(仮称)付近及び伊万里松浦道路(山代IC(仮称)～今福IC(仮称)間)の佐代川橋(仮称)や今福IC(仮称)付近において、伊万里市内(佐代川橋(仮称)～今福IC(仮称)間)の西九州自動車道建設促進団体4団体14名による合同現地視察が行われました。

当日は国土交通省の担当者から工事内容や施工方法等の説明を受け、その内容について活発な質疑が行われました。また、現地の進捗状況を目の当たりにした参加者からは、「観光など交流人口の拡大が期待できる」「一日も早い供用開始を待ちにしていい」との声を聞かれました。